

幸区区民アンケート調査 概要版

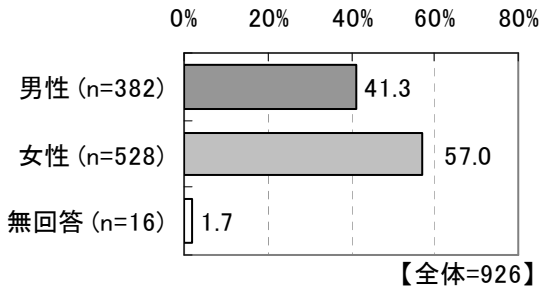
調査の概要

調査設計	●調査対象	幸区在住の満20歳以上の男女（外国人を含む）
	●標本数	2,000標本
	●抽出方法	住民基本台帳及び外国人登録原票（平成22年12月3日現在）に基づく層化二段無作為抽出
	●調査方法	郵送配布一郵送回収法
	●調査期間	平成22年12月22日（水）～平成23年1月14日（金）
	●有効回収数	926
	●有効回収率	46.3%
調査項目	① 幸区への愛着や住みやすさなどについて	⑥ 幸区区計画について
	② 行政の情報について	⑦ 幸区地域福祉計画について
	③ 区政への評価と要望について	⑧ 幸区役所保健福祉センターだよりについて
	④ 幸区区民会議について	⑨ 幸区の子育て支援について
	⑤ 地域活動や課題について	⑩ 幸区役所庁舎建替えについて

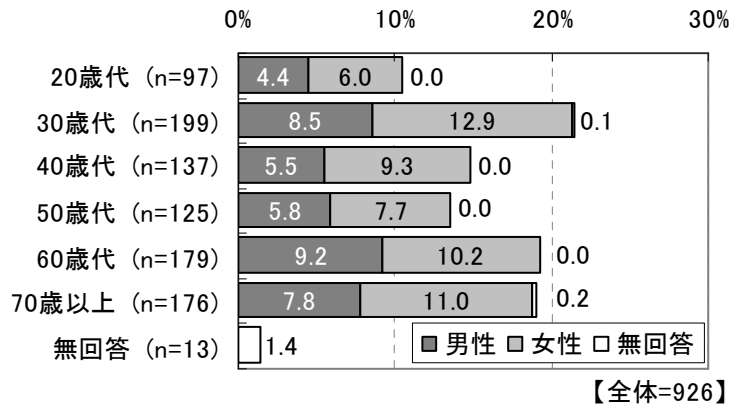
※ 図中における基数となるべき実数(n)は回答者数を示している。また、本文中の「構成比(%)」は小数点以下第2位を四捨五入していること、並びに複数回答によるものも含まれていることから、構成比の合計が100%に満たない、あるいは上回る場合がある。

調査回答者の属性

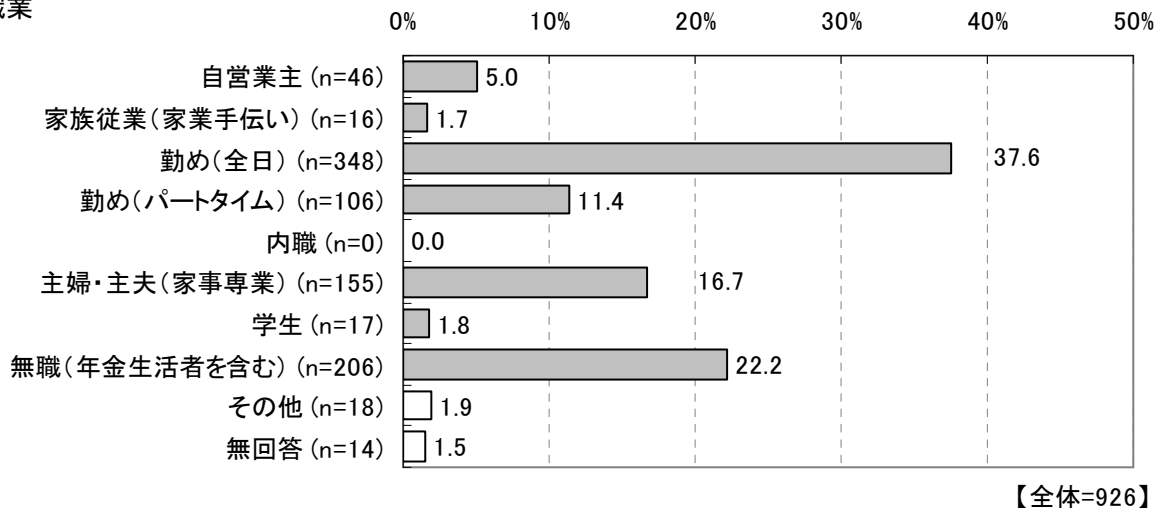
【F1】性別



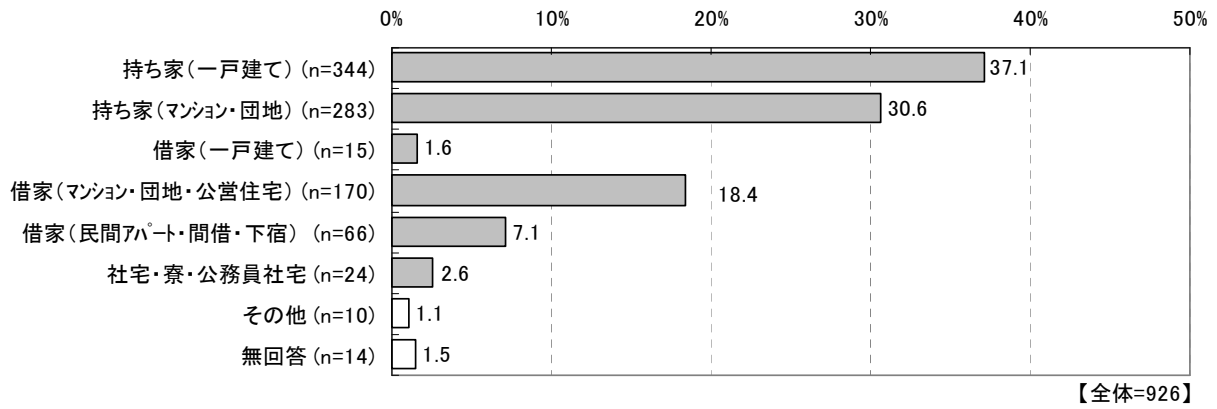
【F2】年代別（性別）



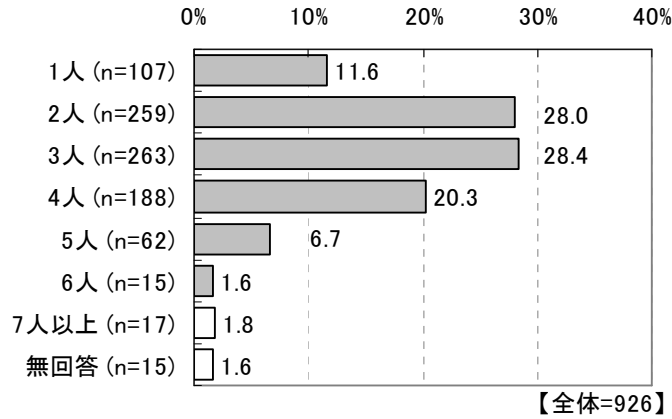
【F3】職業



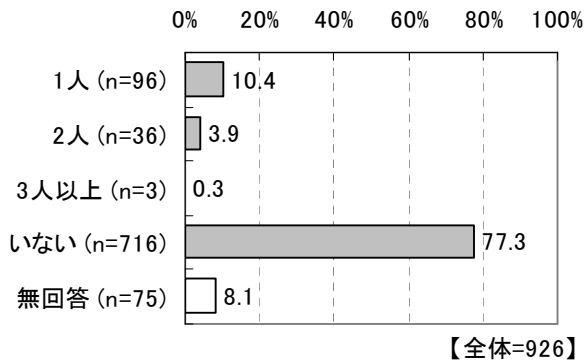
【F4】現在の住まい



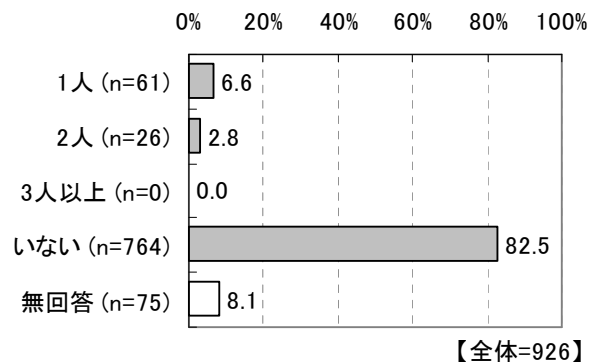
【F5】同居家族



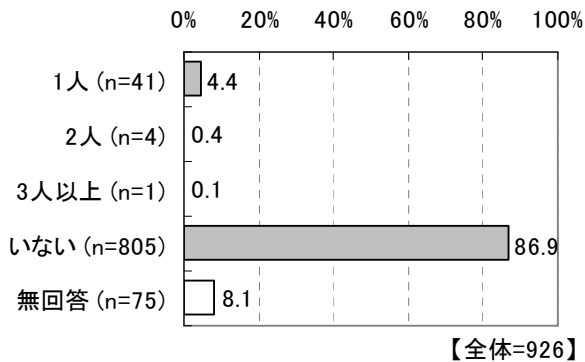
【F6-1】未就学児の家族



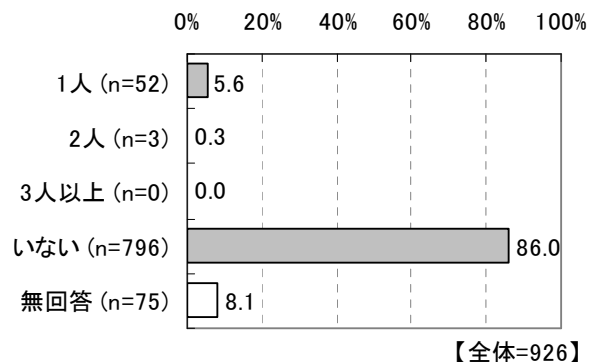
【F6-2】小学生の家族



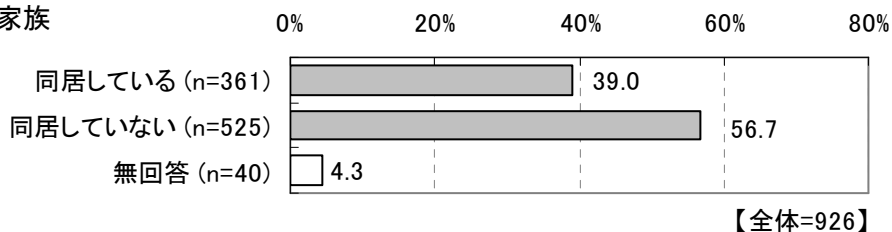
【F6-3】中学生の家族



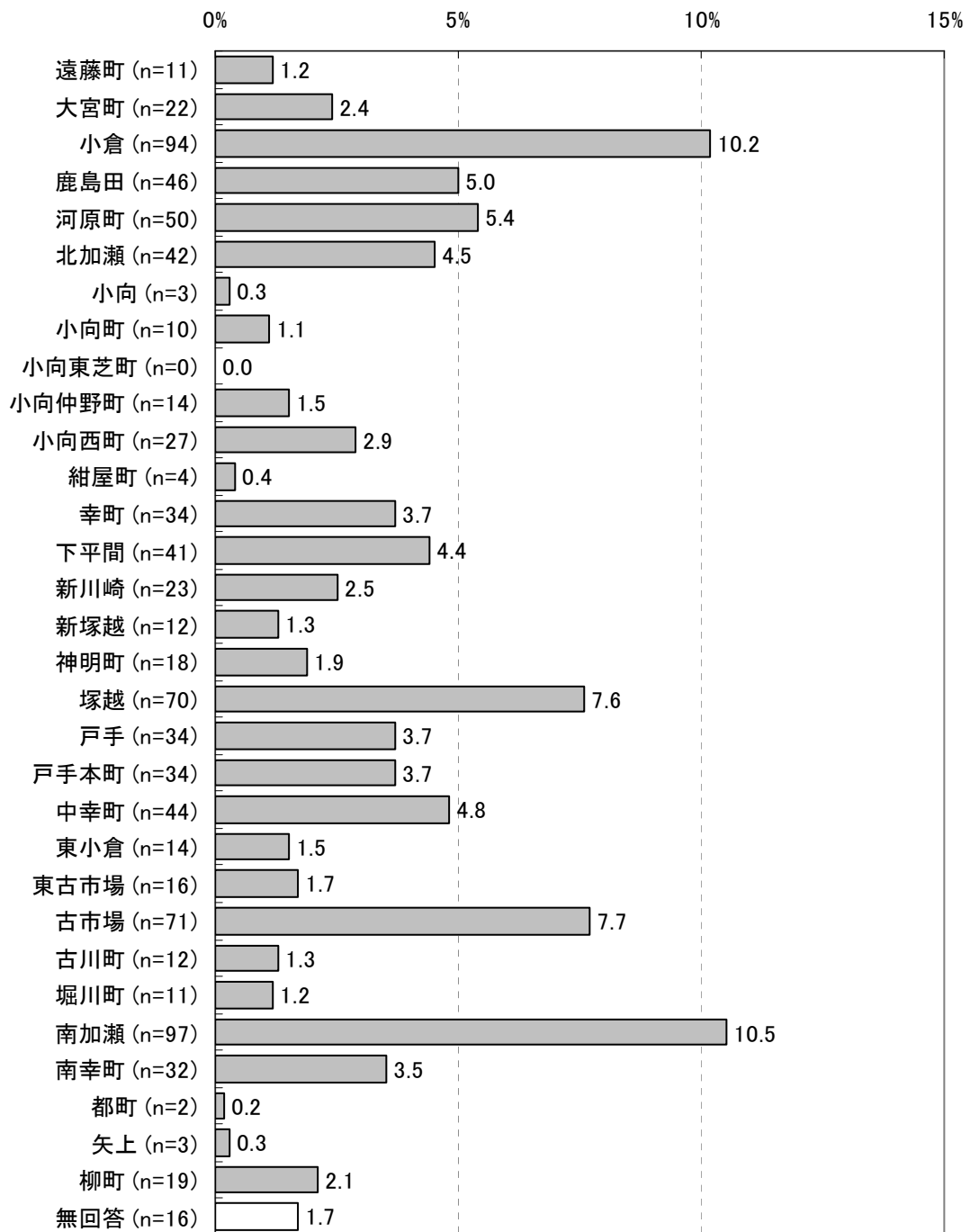
【F6-4】高校生の家族



【F7】65歳以上の家族

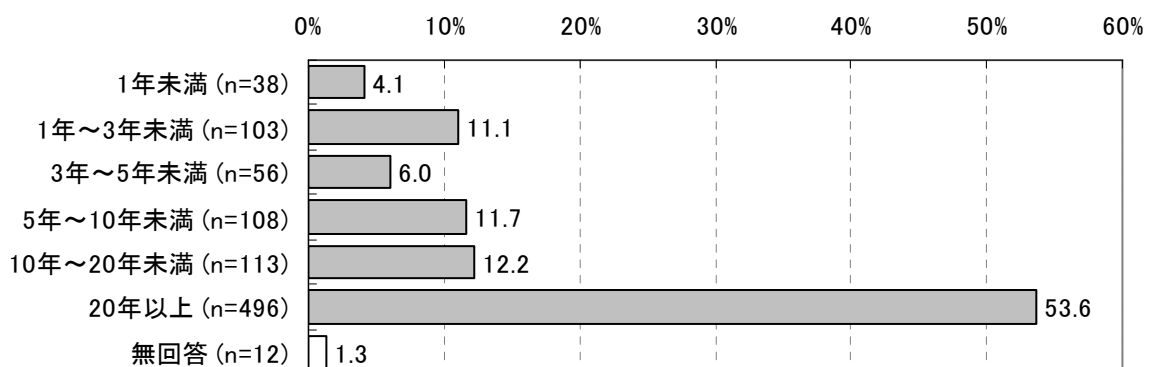


【F8】居住地区



【全体=926】

【F9】居住年数

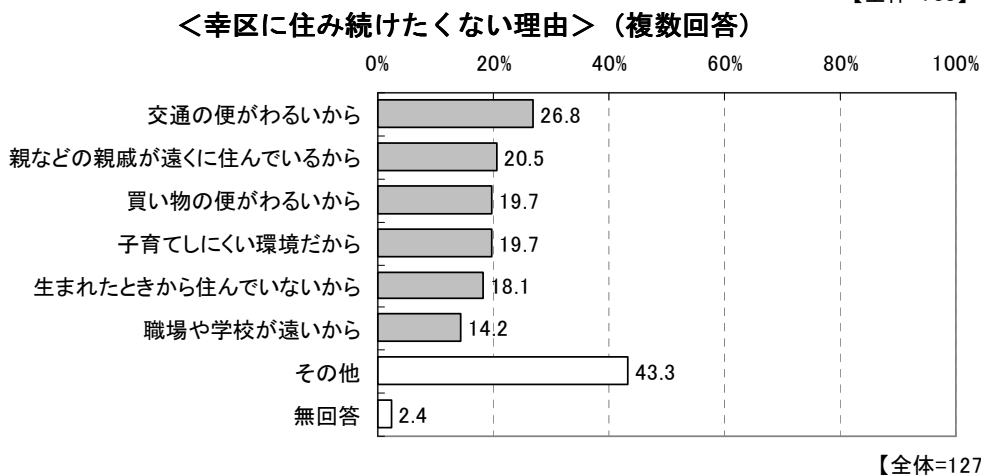
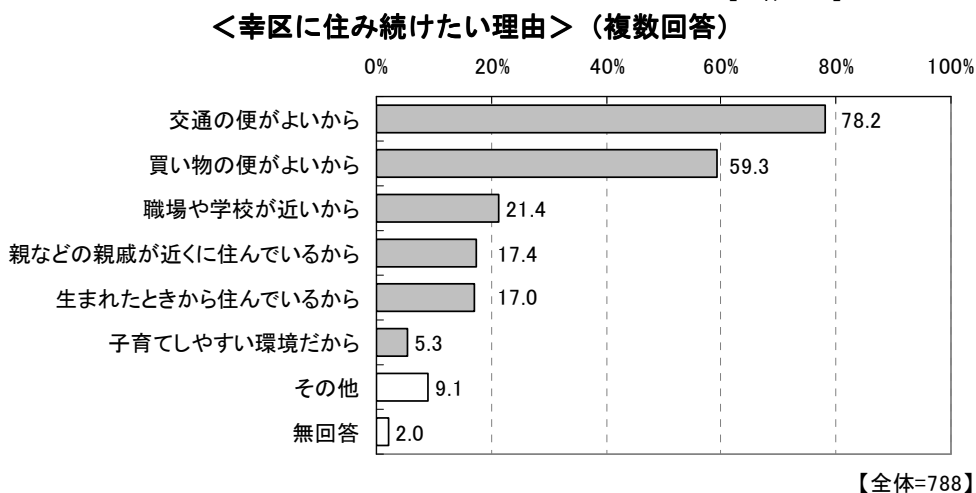
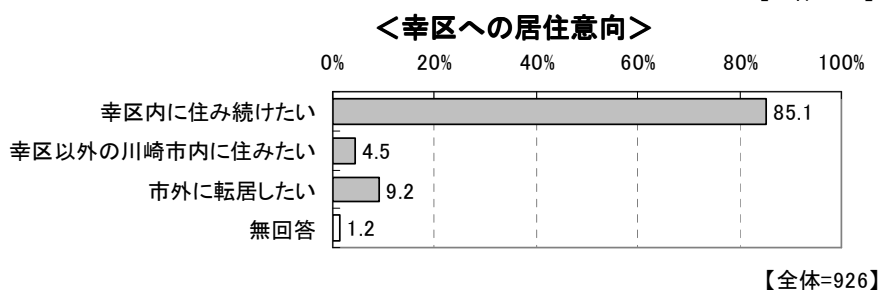
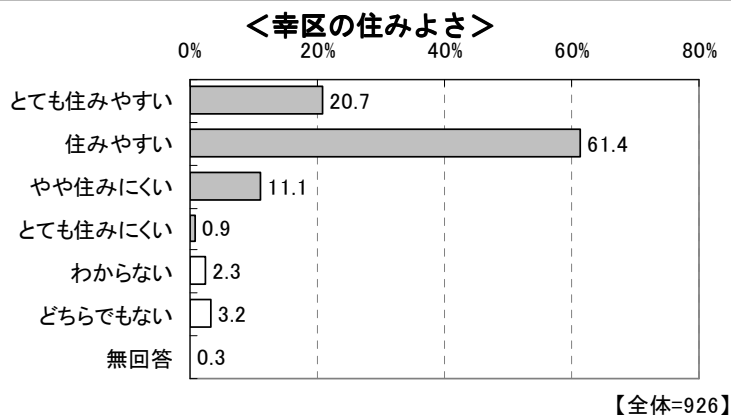


【全体=926】

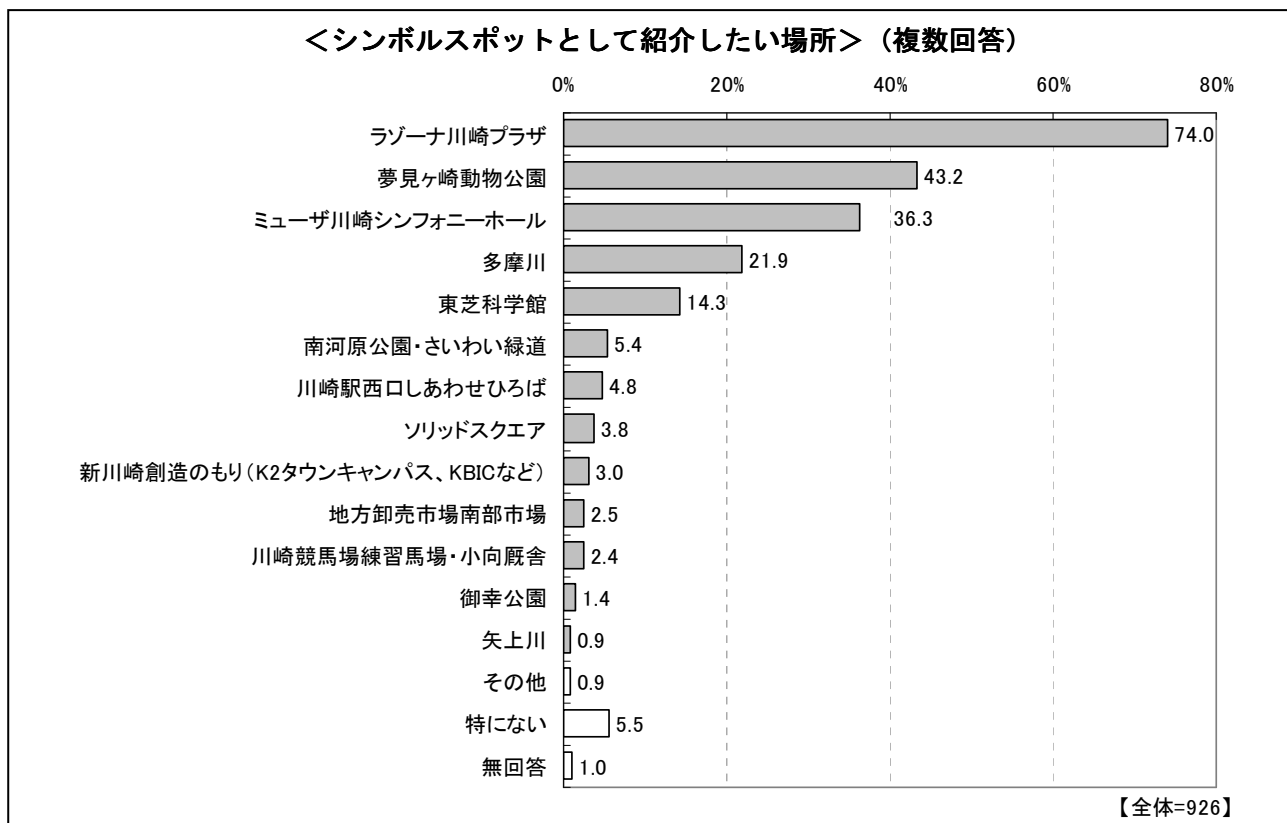
1. 幸区への愛着や住みやすさなどについて

幸区の住みやすさについては、「住みやすい」が61.4%、「とても住みやすい」が20.7%と続き、合わせて82.1%の回答者が、住みやすい区と感じており、今後も「幸区に住み続けたい」とする回答者は、85.1%とどちらも8割を超えている。

幸区に住み続けたい理由は、「交通の便がよいから」78.2%、「買い物の便がよいから」59.3%が続いている。反対に、幸区に住み続けたくない理由は、「交通の便が悪いから」26.8%、「親などの親戚が遠くに住んでいるから」20.5%と続いている。

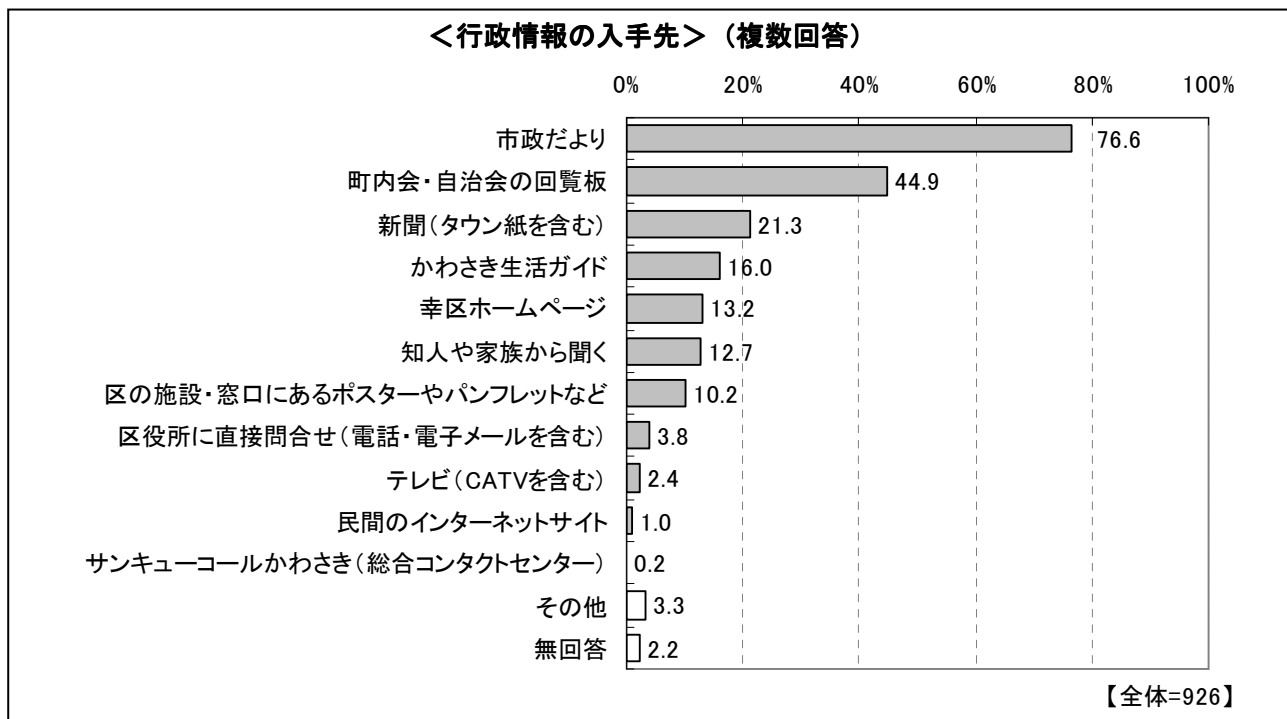


シンボルスポットとして紹介したい場所は、「ラゾーナ川崎プラザ」74.0%が最も高く、「夢見ヶ崎動物公園」43.2%、「ミュージア川崎シンフォニーホール」36.3%、「多摩川」21.9%が続いている。



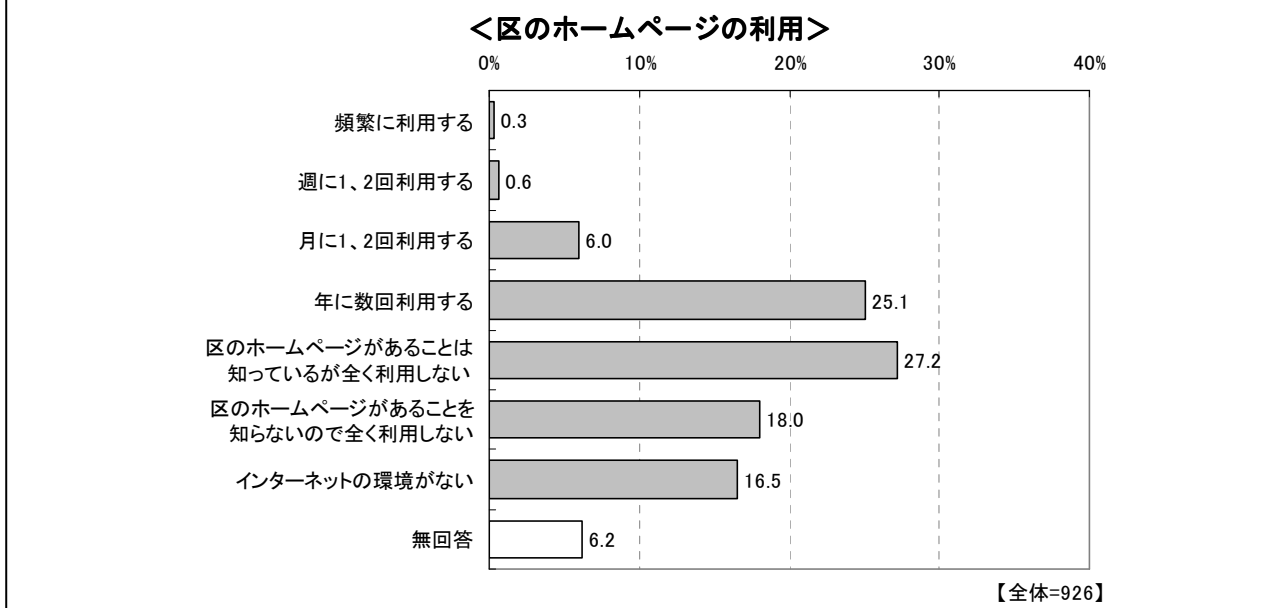
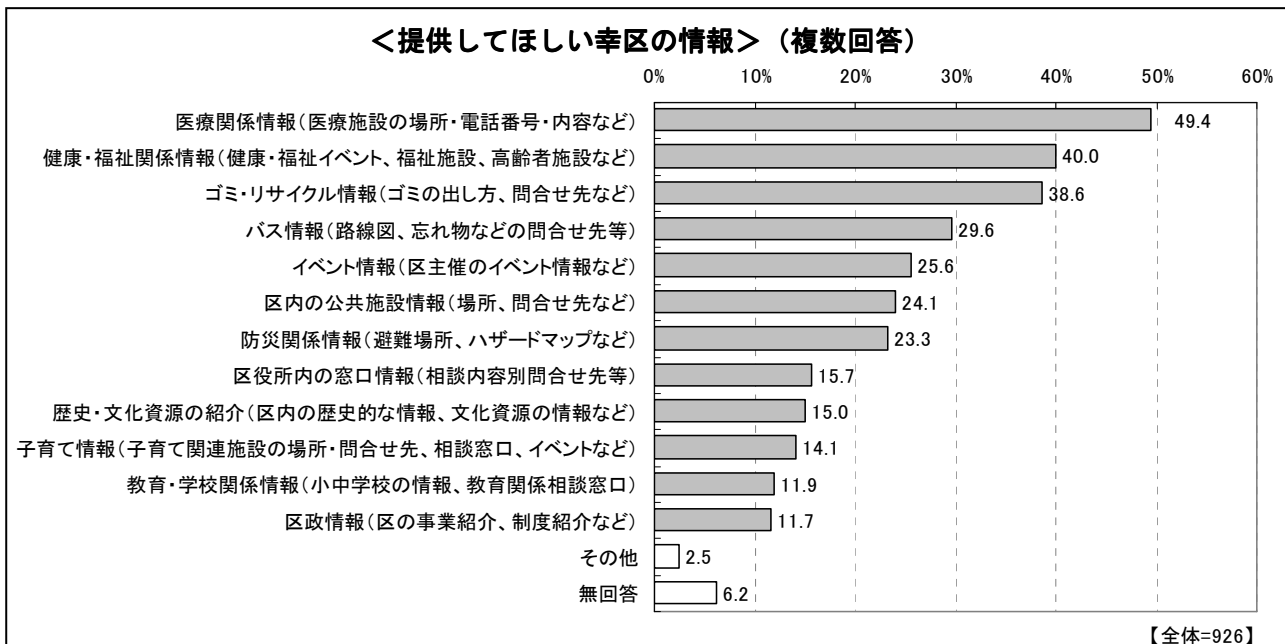
2. 行政の情報について

幸区などが提供する行政情報の入手先は、「市政だより」が76.6%と最も高く、「町内会・自治会の回覧板」44.9%、「新聞（タウン紙を含む）」21.3%が続いている。



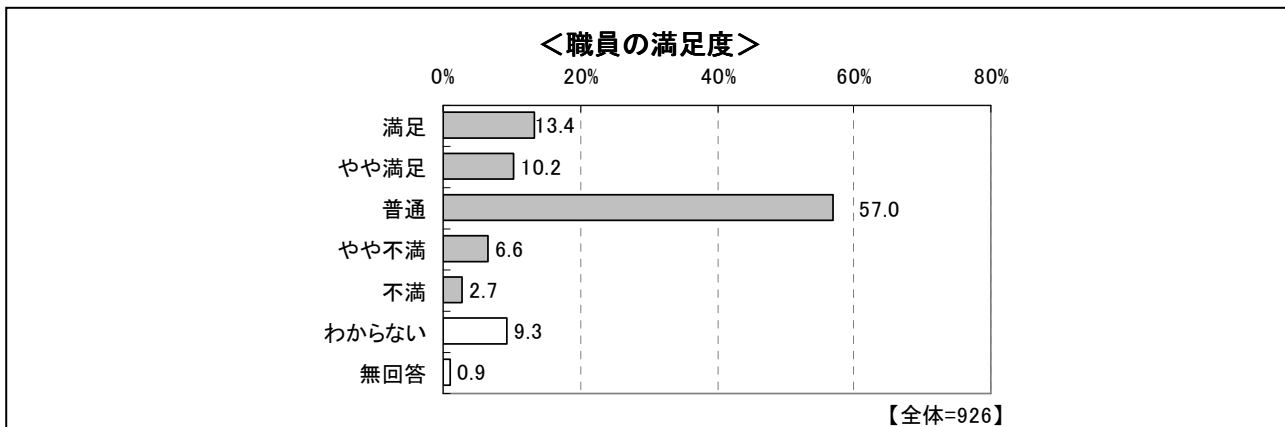
提供してほしい幸区の情報は、「医療関係情報（医療施設の場所・電話番号・内容など）」49.4%が最も高く、「健康・福祉関係情報（健康・福祉イベント、福祉施設、高齢者施設など）」40.0%、「ゴミ・リサイクル情報（ゴミの出し方、問合せ先など）」38.6%と続いている。

区のホームページの利用は、「区のホームページがあることは知っているが全く利用しない」27.2%が最も高く、「年に数回利用する」25.1%、「区のホームページがあることを知らないので全く利用しない」18.0%と続いている。



3. 区政への評価と要望について

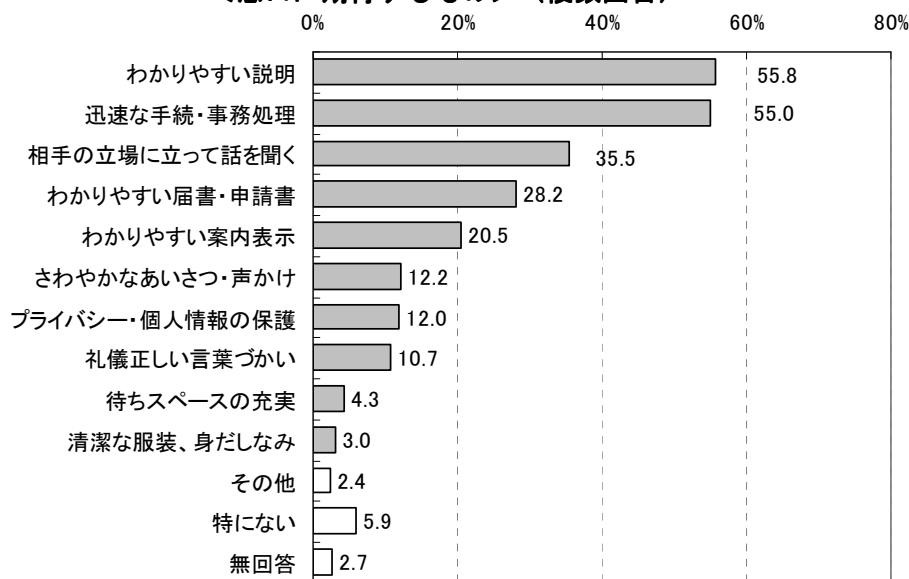
幸区役所（日吉出張所・道路公園センター・市民館を含む）職員の対応に対する満足度は、「普通」が57.0%と最も高く、「満足」13.4%、「やや満足」10.2%と続いている。



窓口に期待するものは、「わかりやすい説明」55.8%が最も高く、「迅速な手続き・事務処理」55.0%、「相手の立場に立って話を聞く」35.5%と続いている。

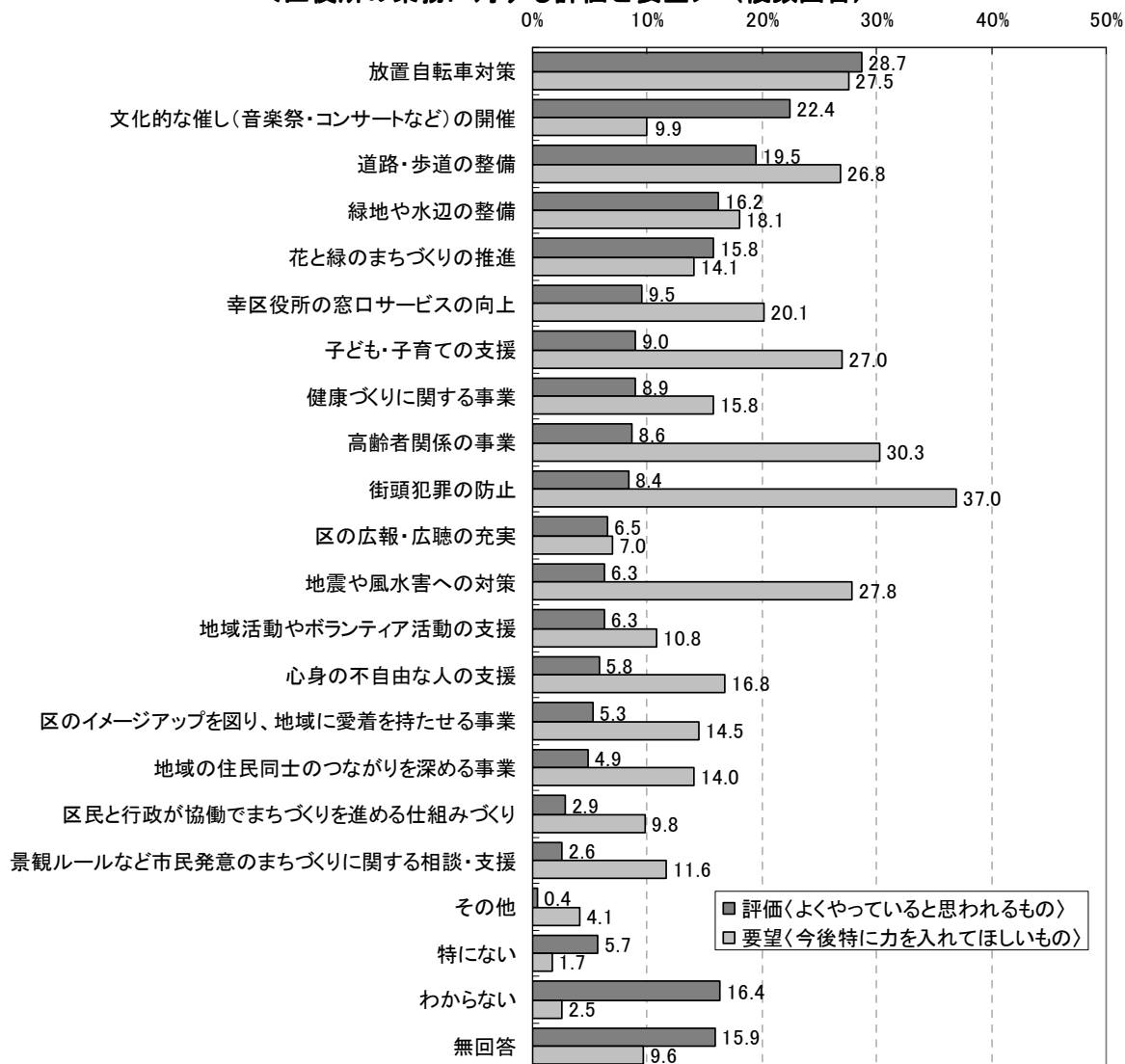
区役所の業務に対する評価は、「放置自転車対策」28.7%が最も高く、「文化的な催し（音楽祭・コンサートなど）」22.4%、「道路・歩道の整備」19.5%と続いている。区役所の業務に対する要望は、「街頭犯罪の防止」37.0%、「高齢者関係の事業」30.3%、「地震や風水害への対策」27.8%と続いている。

＜窓口に期待するもの＞（複数回答）



【全体=926】

＜区役所の業務に対する評価と要望＞（複数回答）

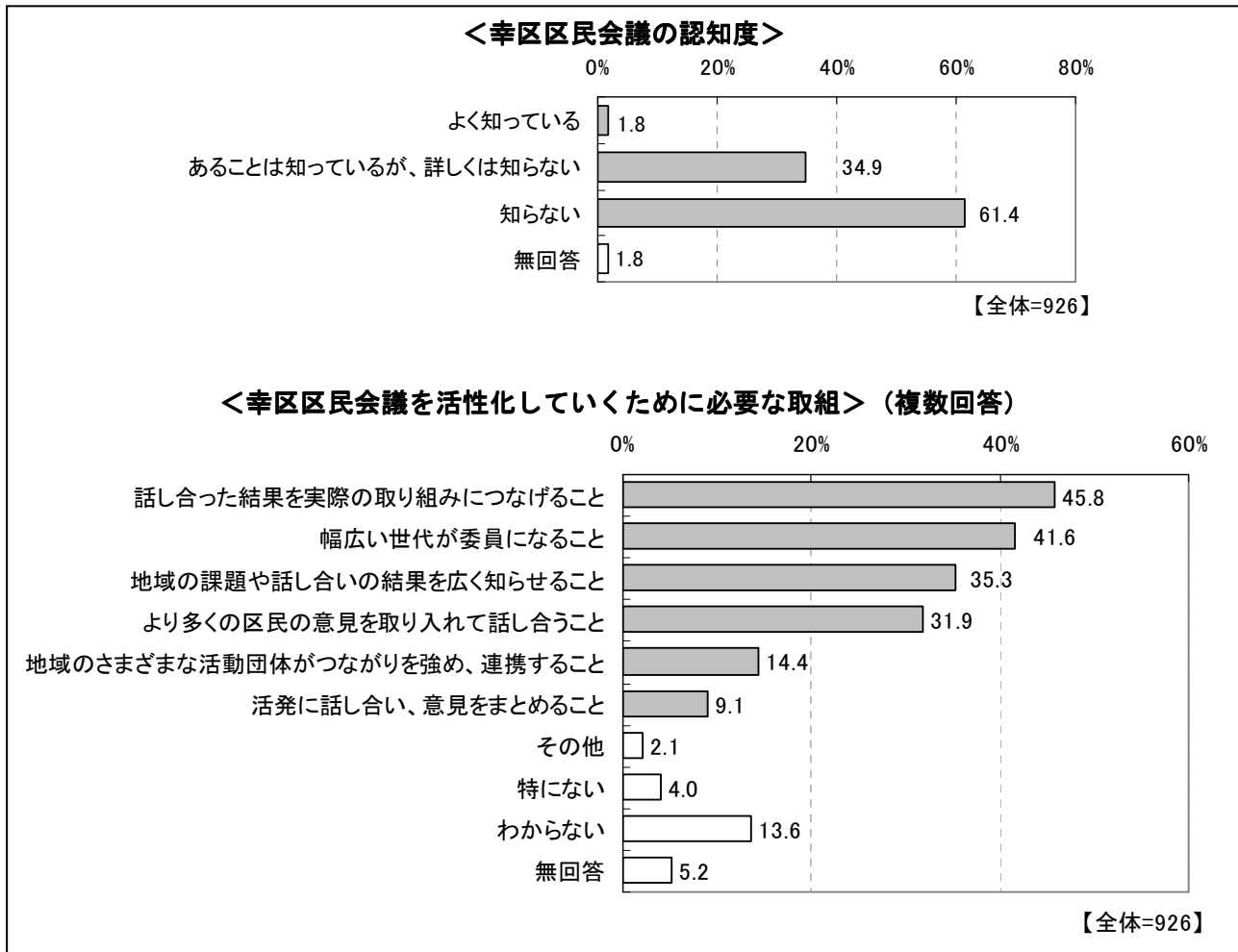


【全体=926】

4. 幸区区民会議について

幸区区民会議の認知度は、「知らない」が 61.4%と最も高く、「あることは知っているが、詳しくは知らない」34.9%、「よく知っている」1.8%となっている。

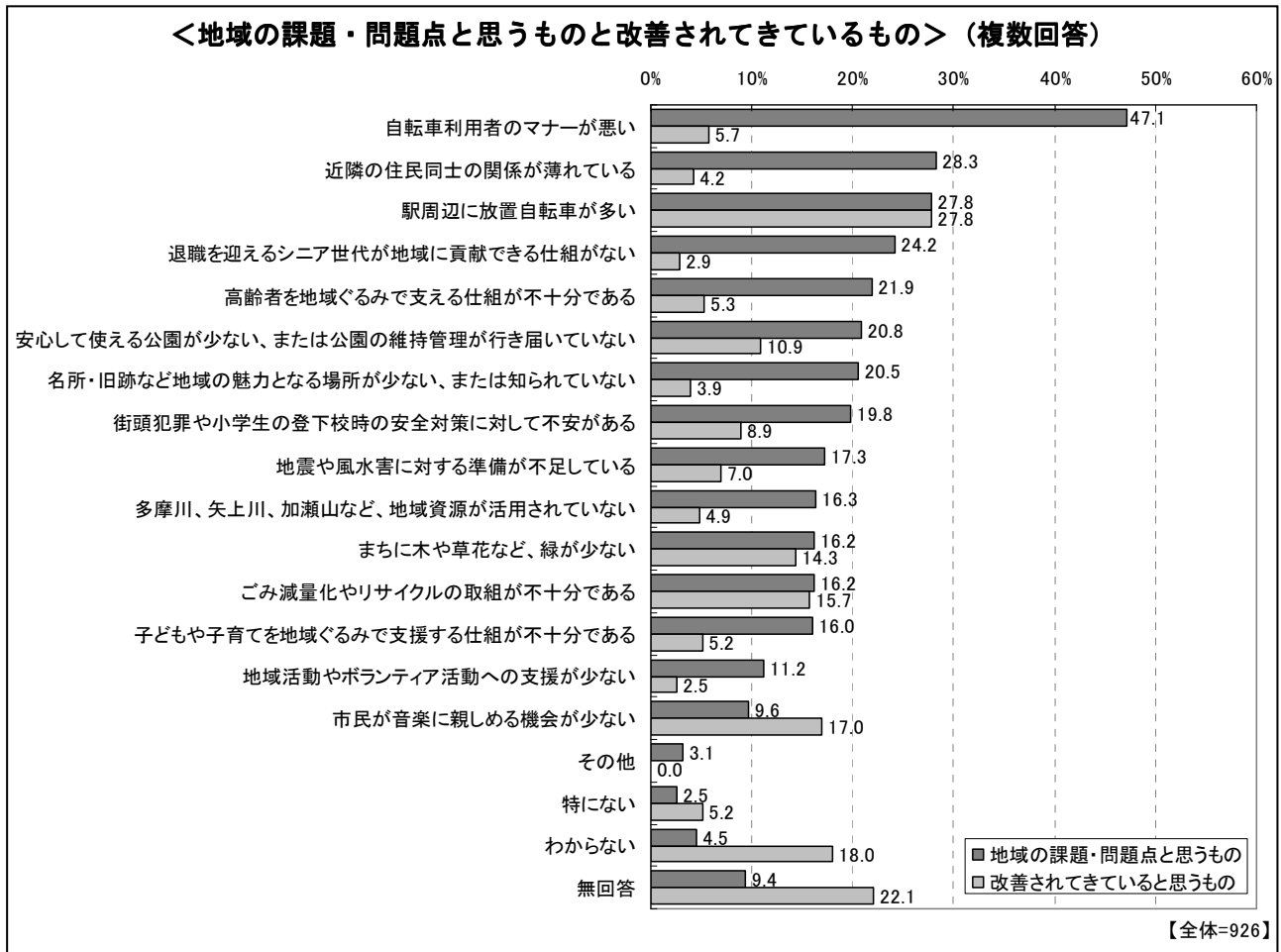
幸区区民会議を活性化していくために必要な取組は、「話し合った結果を実際の取り組みにつなげること」45.8%が最も高く、「幅広い世代が委員になること」41.6%、「地域の課題や話し合いの結果を広く知らせること」35.3%と続いている。



5. 地域活動や課題について

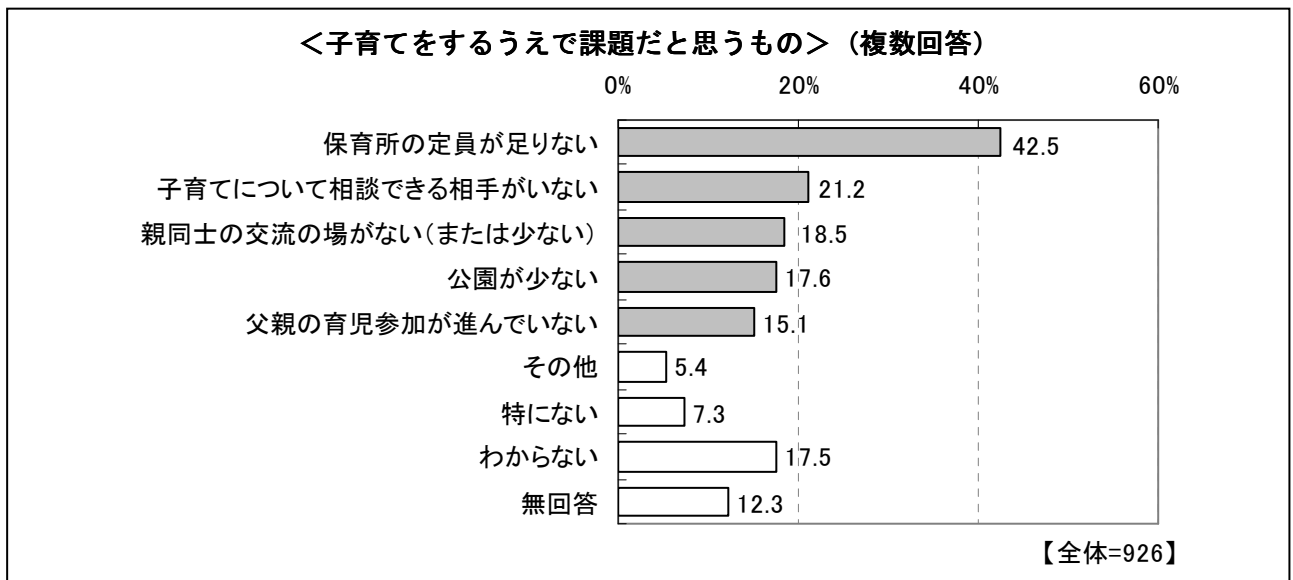
地域の課題・問題点と思うものは、「自転車利用者のマナーが悪い」が47.1%と最も高く、「近隣の住民同士の関係が薄れている」28.3%、「駅周辺に放置自転車が多い」27.8%と続いている。

一方で、改善されてきているものは、「駅周辺に放置自転車が多い」が27.8%と最も高く、「市民が音楽に親しめる機会が少ない」17.0%、「ごみ減量化やリサイクルに取組が不十分である」15.7%と続いている。

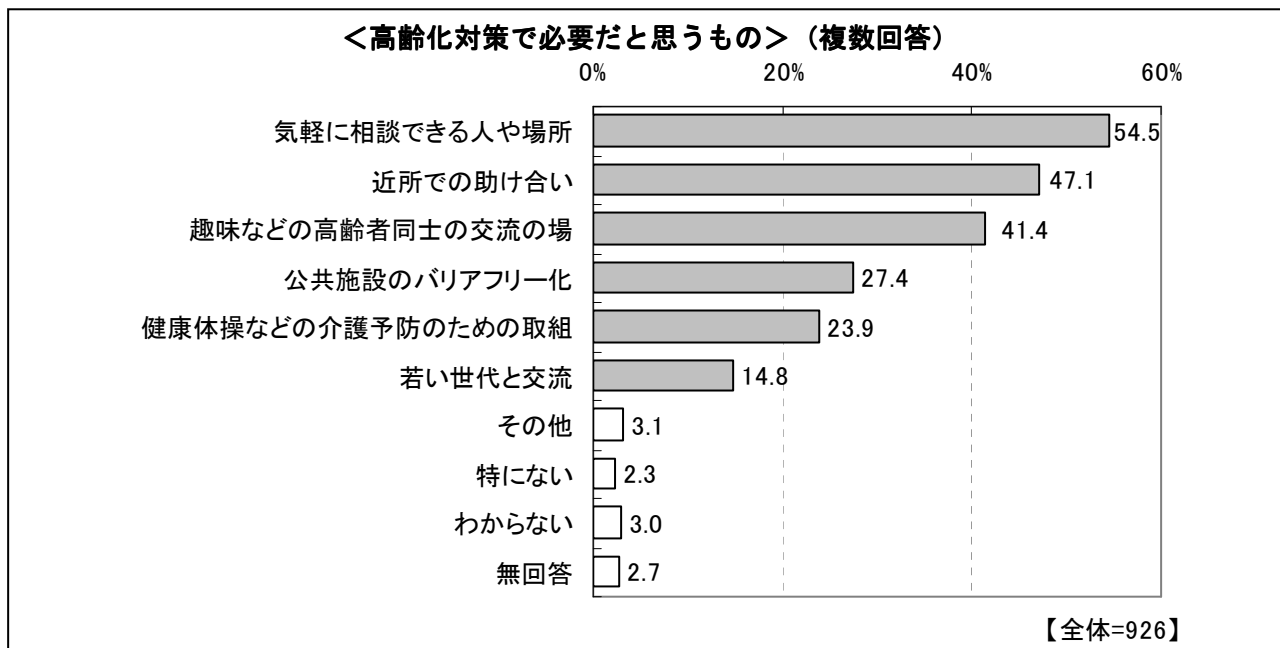


6. 幸区画計画に関連することについて

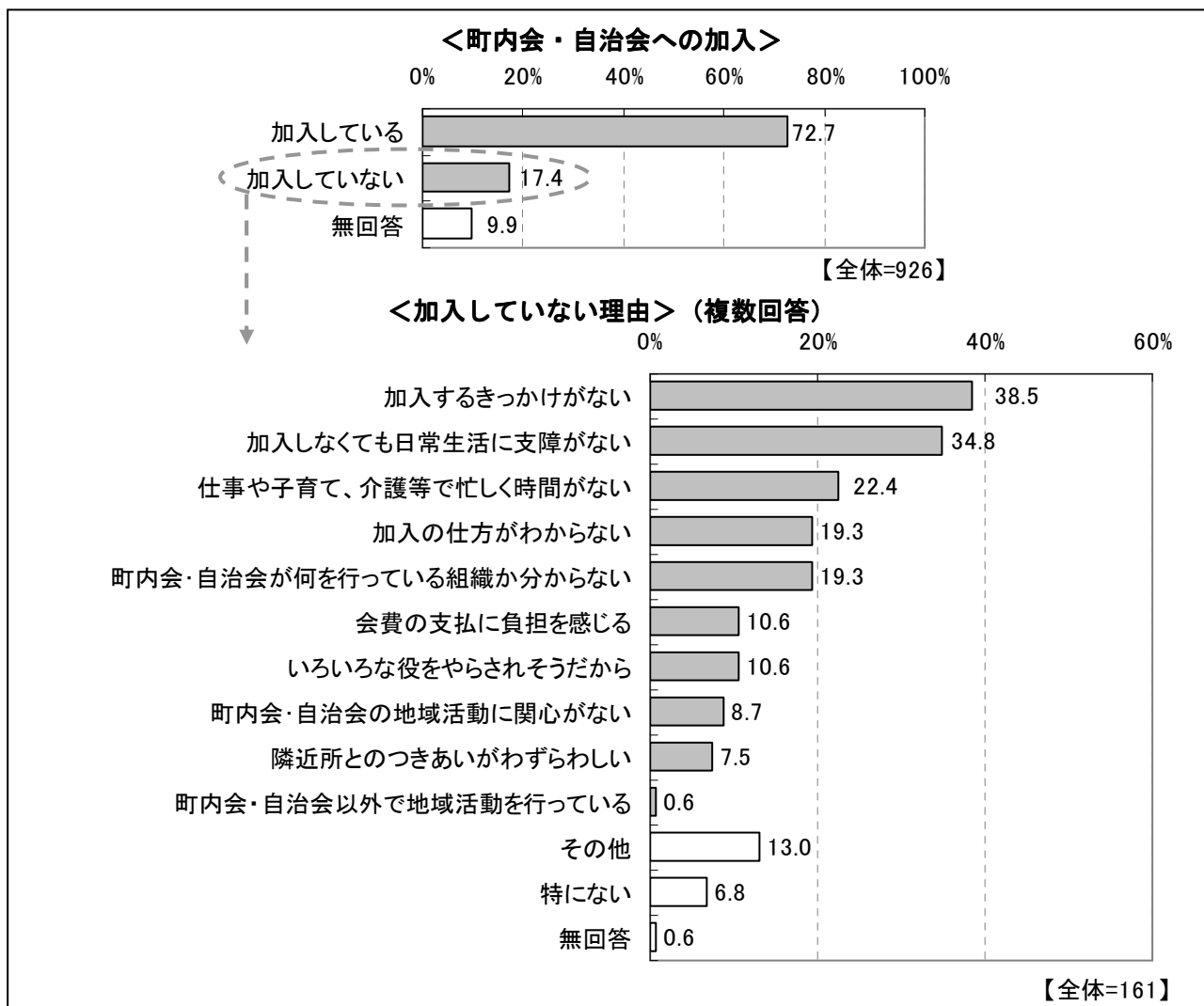
子育てをするうえで課題だと思うものは、「保育所の定員が足りない」が42.5%と最も高く、「子育てについて相談できる相手がいない」21.2%、「親同士の交流の場がない(または少ない)」18.5%と続いている。



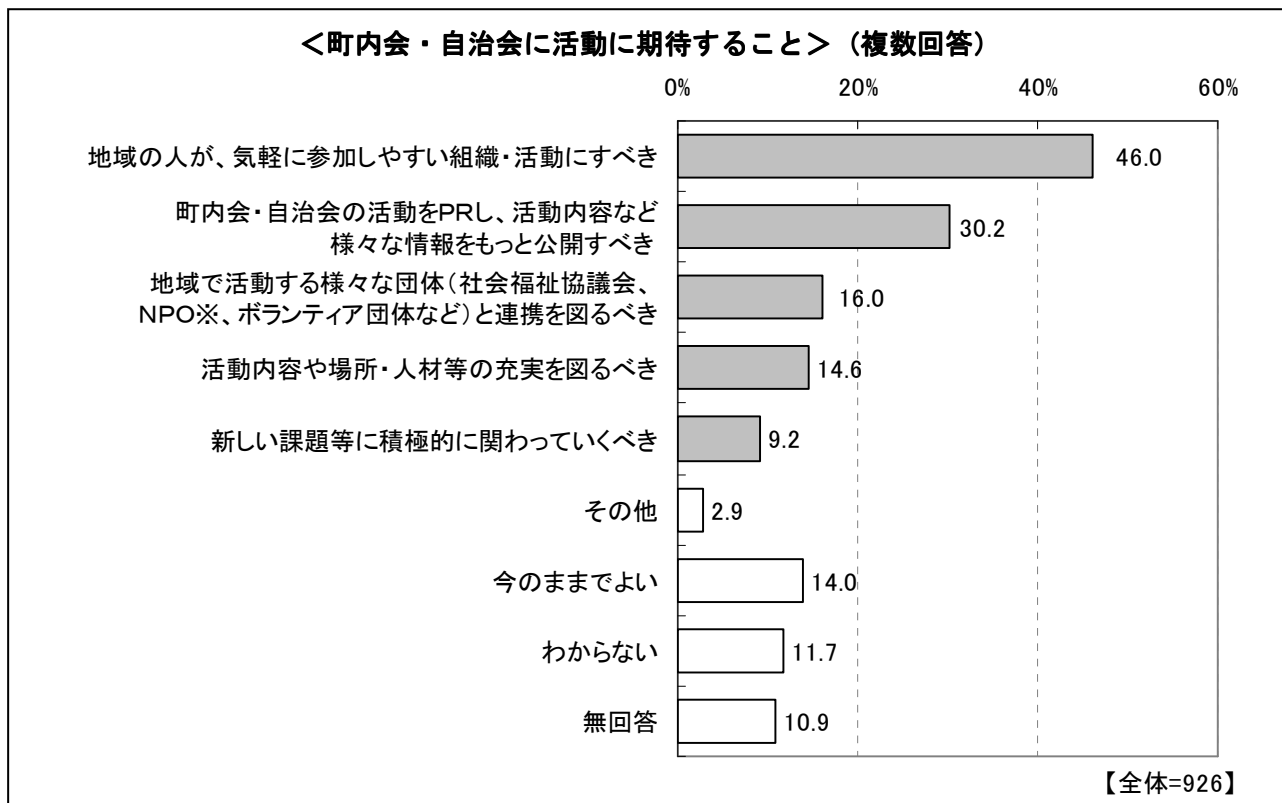
高齢化対策で必要だと思うものは、「気軽に相談できる人や場所」が 54.5%と最も高く、「近所での助け合い」47.1%、「趣味などの高齢者同士の交流の場」41.4%と続いている。



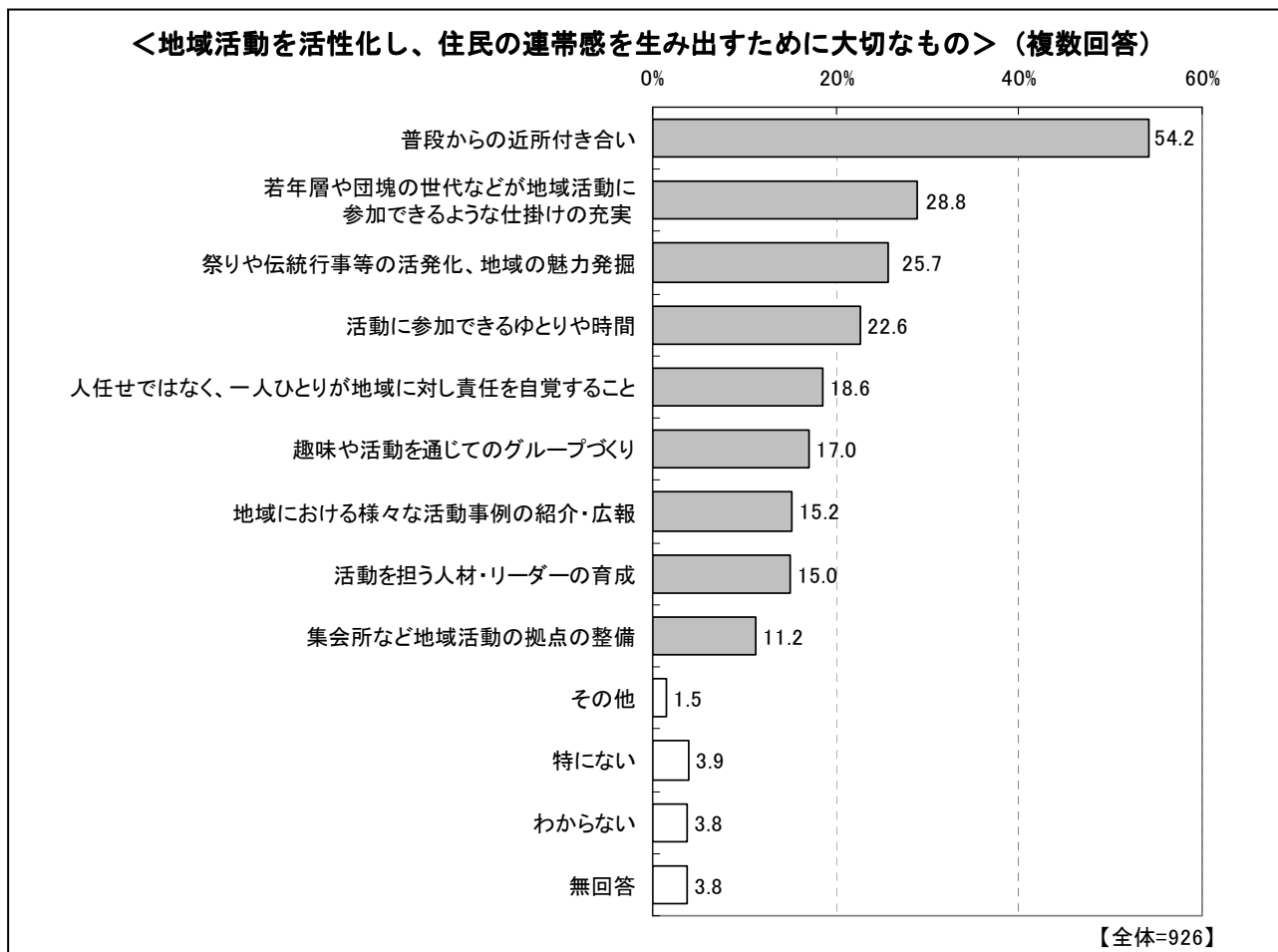
町内会・自治会への加入は、「加入している」72.7%、「加入していない」17.4%となっている。加入していない理由は、「加入するきっかけがない」が 38.5%と最も高く、「加入しなくても日常生活に支障がない」34.8%、「仕事や子育て、介護等で忙しく時間がない」22.4%と続いている。



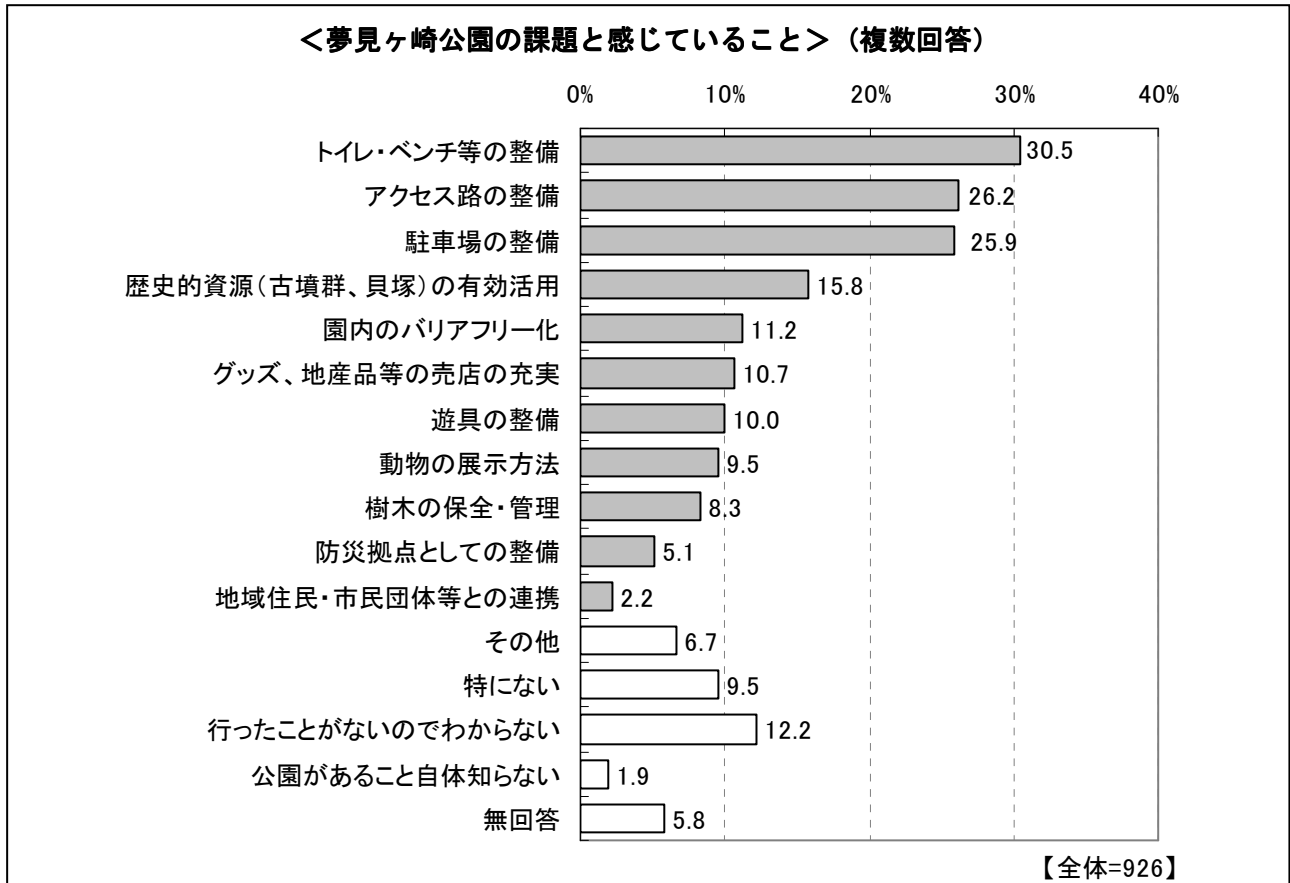
町内会・自治会活動に期待することは、「地域の人が、気軽に参加しやすい組織・活動にすべき」が46.0%と最も高く、「町内会・自治会の活動をPRし、活動内容など様々な情報をもっと公開すべき」30.2%、「地域で活動する様々な団体（社会福祉協議会、NPO※、ボランティア団体など）と連携を図るべき」16.0%と続いている。



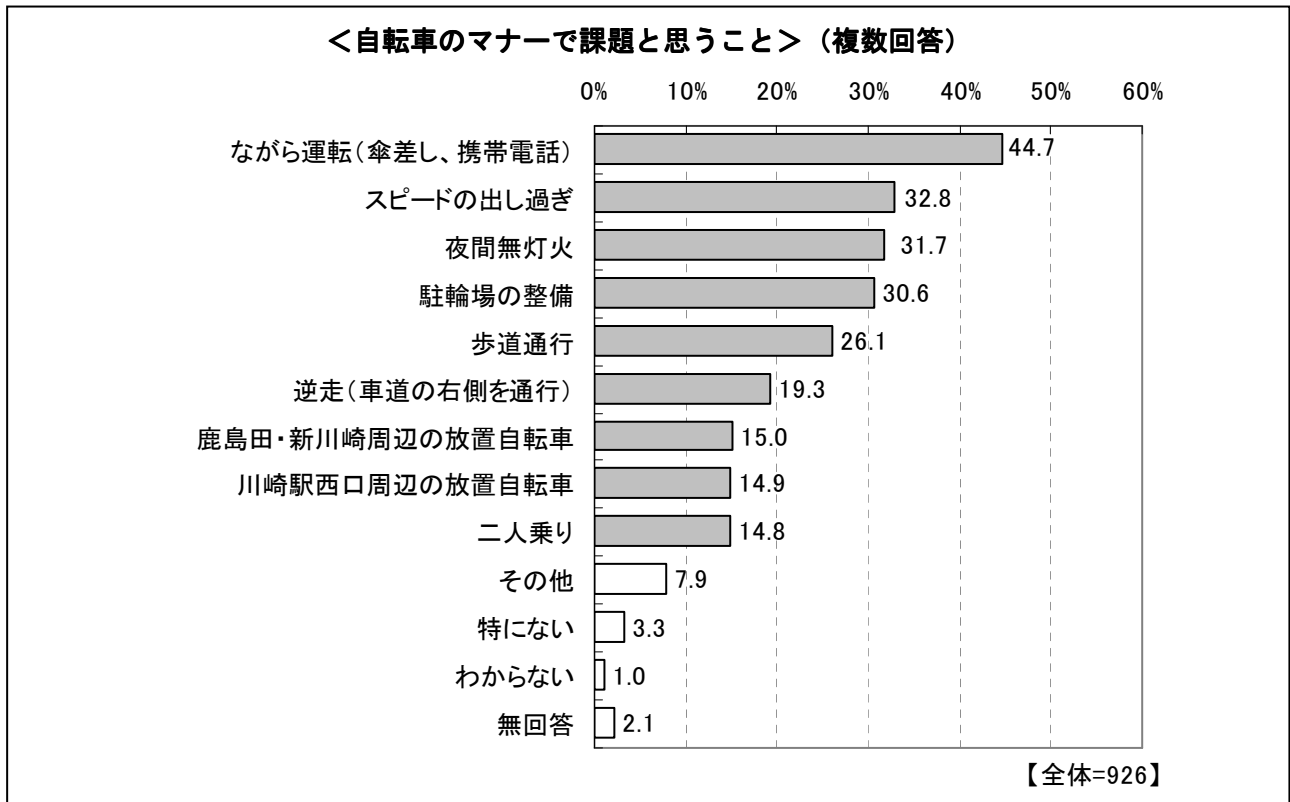
地域活動を活性化し、住民の連帯感を生み出すために大切なものは、「普段からの近所付き合い」が54.2%と最も高く、「若年層や団塊の世代などが地域活動に参加できるような仕掛けの充実」28.8%、「祭りや伝統行事等の活発化、地域の魅力発掘」25.7%と続いている。



夢見ヶ崎公園の課題と感じていることは、「トイレ・ベンチ等の整備」が 30.5%と最も高く、「アクセス路の整備」26.2%、「駐車場の整備」25.9%と続いている。



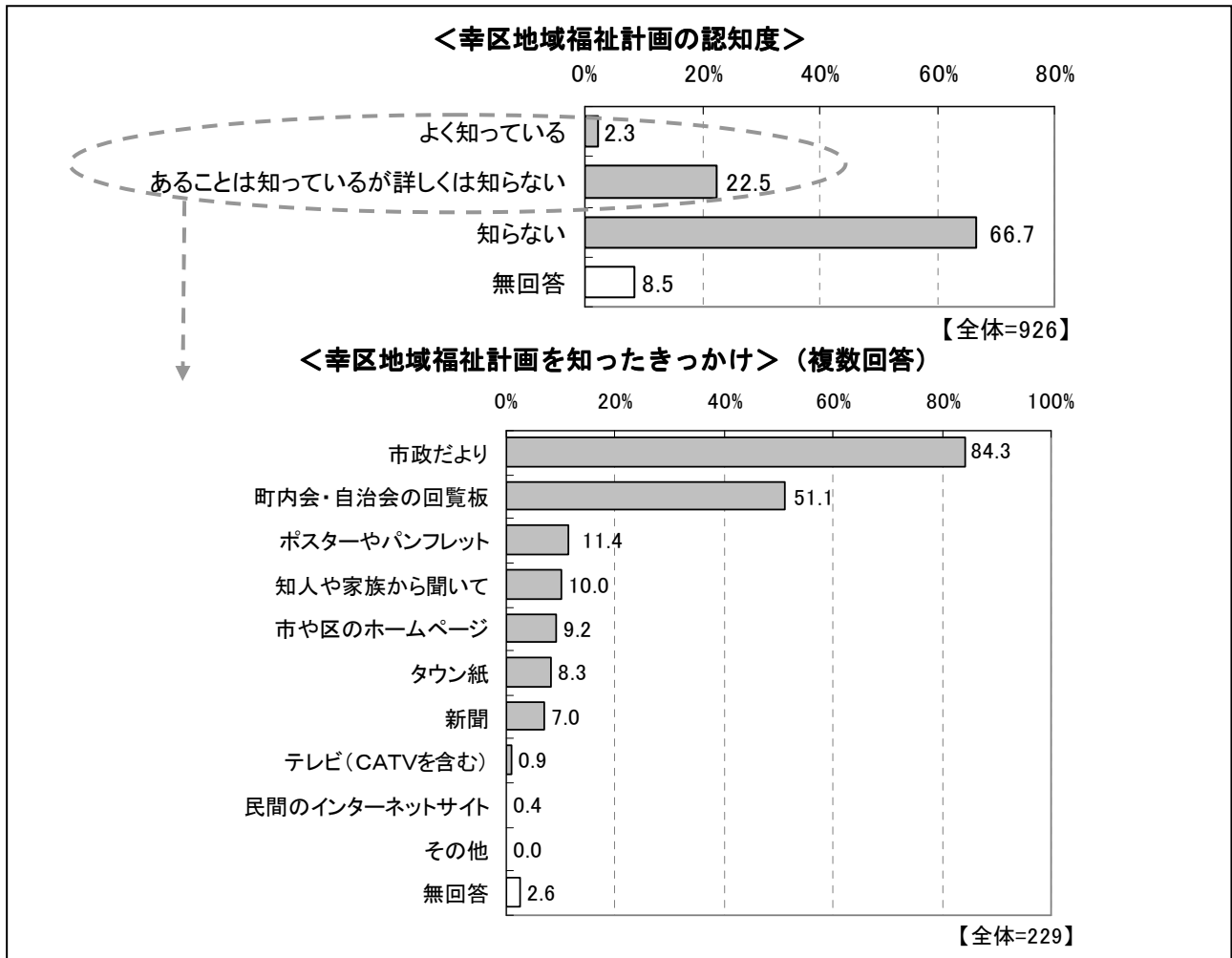
自転車のマナーで課題と思うことは、「ながら運転(傘差し、携帯電話)」が 44.7%と最も高く、「スピードの出し過ぎ」32.8%、「夜間無灯火」31.7%、「駐輪場の整備」30.6%と続いている。



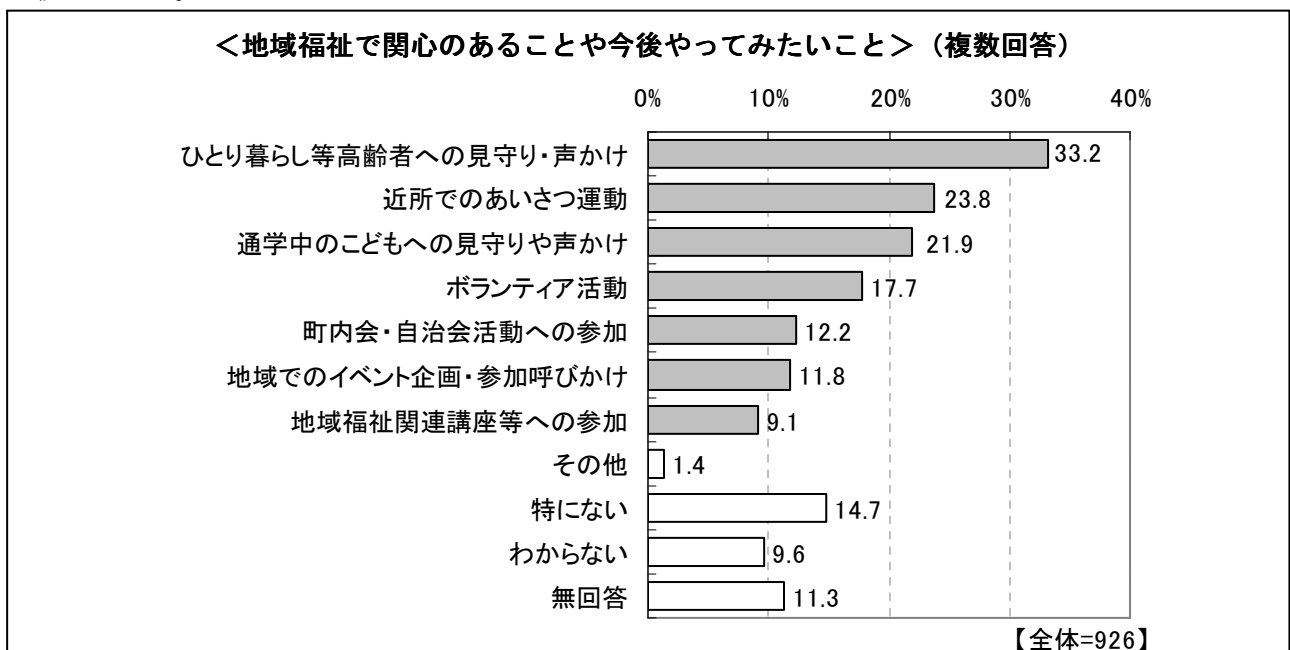
7. 幸区地域福祉計画について

幸区地域福祉計画の認知度は、「知らない」が66.7%と最も高く、「あることは知っているが詳しくは知らない」22.5%、「よく知っている」2.3%となっている。

幸区地域福祉計画を知ったきっかけは、「市政だより」が84.3%と最も高く、「町内会・自治会の回覧板」51.1%、「ポスターやパンフレット」11.4%と続いている。



地域福祉で関心のあることや今後やってみたいことは、「ひとり暮らし等高齢者への見守り・声かけ」が33.2%と最も高く、「近所でのあいさつ運動」23.8%、「通学中の子どもへの見守りや声かけ」21.9%と続いている。



8. 幸区役所保健福祉センターだよりについて

幸区保健福祉センターだよりの認知度は、「知っている」41.0%、「知らない」47.4%となっている。

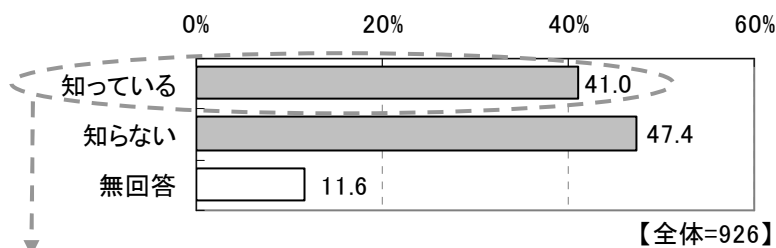
幸区保健福祉センターだよりを知ったきっかけは、「自宅への配布」が85.3%と最も高く、「公共施設利用時」13.9%、「区のホームページ」3.9%と続いている。

見やすさ（文字の大きさ、配色など）は、「見やすい」26.3%、「ふつう」64.5%、「見づらい」2.1%となっている。

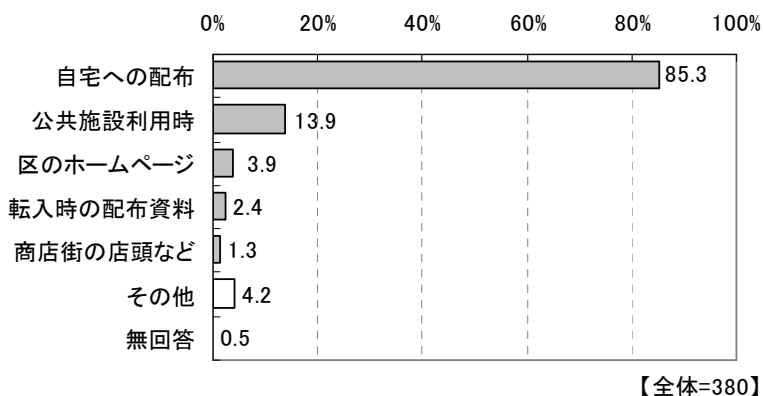
内容のわかりやすさは、「わかりやすい」18.9%、「ふつう」67.6%、「わかりづらい」4.5%となっている。

掲載されている情報量は、「多すぎる」1.8%、「ふつう」84.7%、「少なすぎる」2.9%となっている。

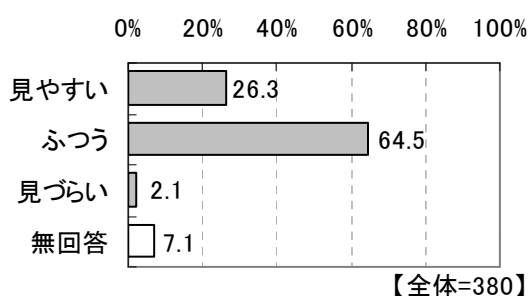
＜幸区保健福祉センターだよりの認知度＞



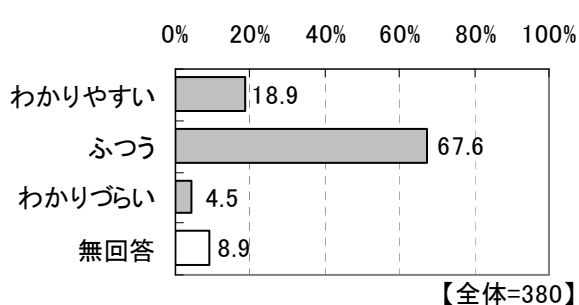
＜幸区保健福祉センターだよりを知ったきっかけ＞（複数回答）



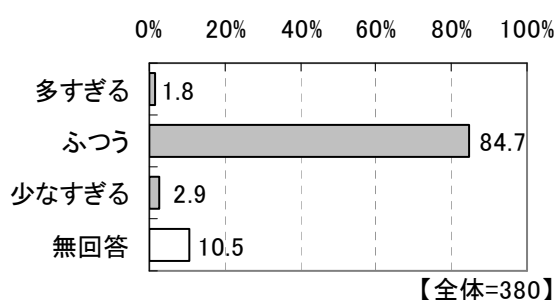
＜見やすさ（文字の大きさ、配色など）＞



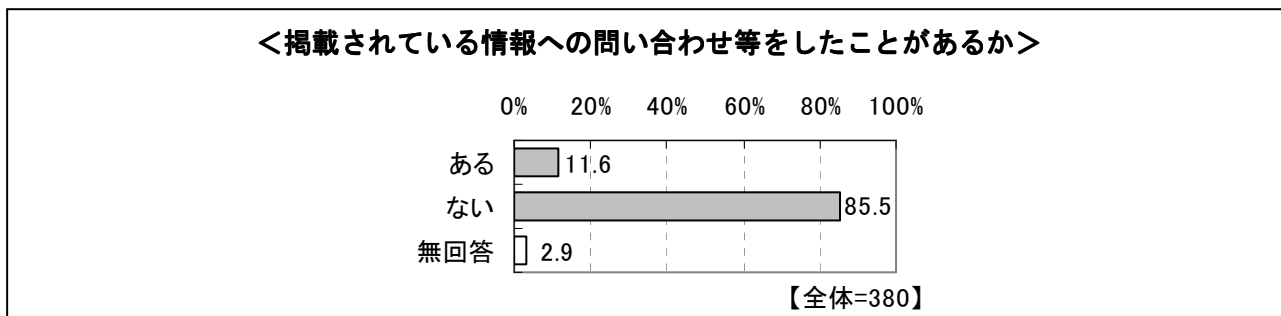
＜内容のわかりやすさ＞



＜掲載されている情報量＞



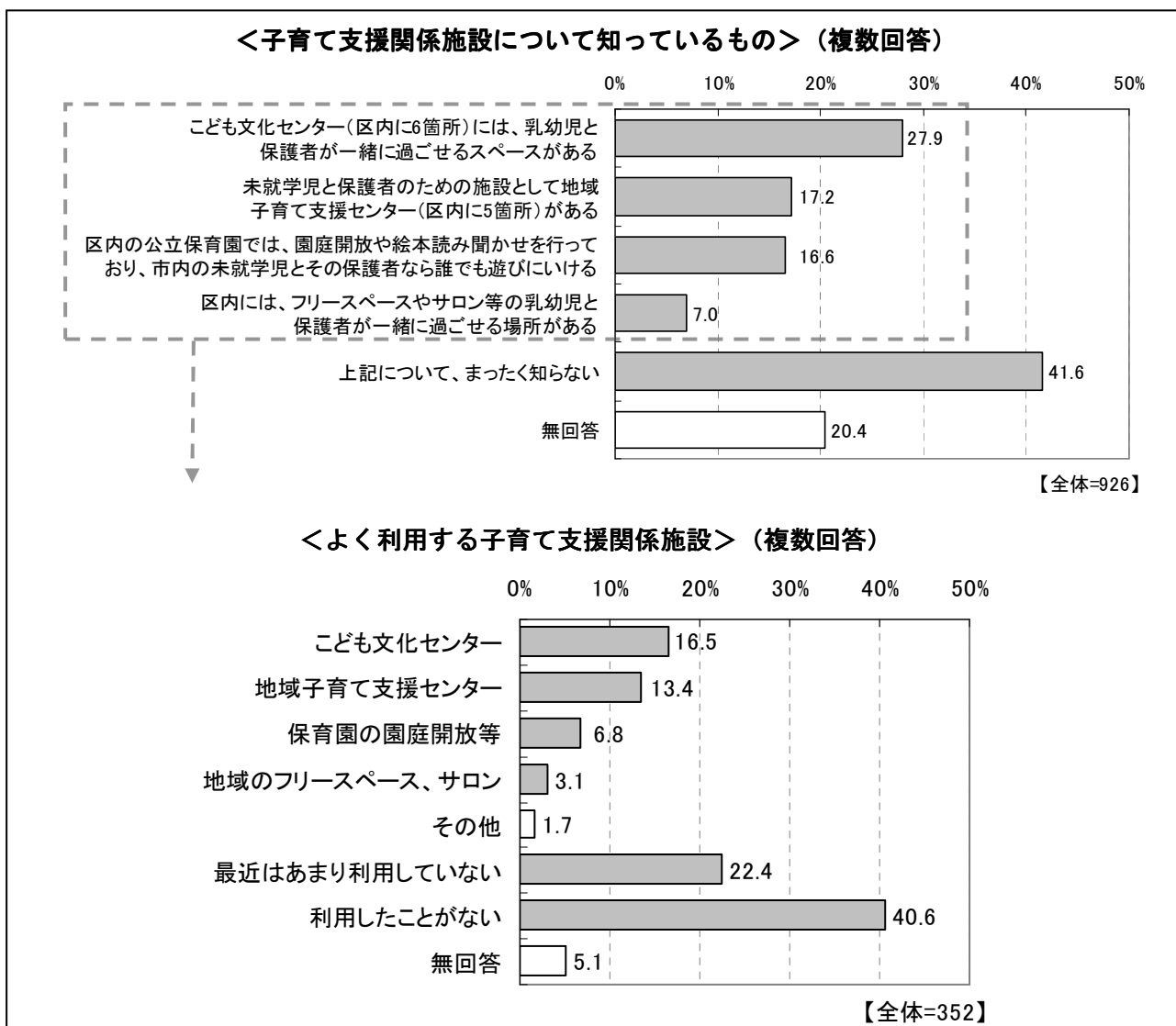
掲載されている情報への問い合わせ等をしたことがあるかは、「ある」11.6%、「ない」85.5%となっている。



9. 幸区の子育て支援について

子育て支援関係施設について知っているものは、「上記について全く知らない」が41.6%と最も高く、「こども文化センター(区内に6箇所)には、乳幼児と保護者が一緒に過ごせるスペースがある」27.9%、「未就学児と保護者のための施設として地域子育て支援センター(区内に5箇所)がある」17.2%と続いている。

よく利用する子育て支援関係施設は、「利用したことがない」、「最近あまり利用していない」を除くと、「こども文化センター」が16.5%と最も高く、「地域子育て支援センター」13.4%、「保育園の園庭開放等」6.8%と続いている。

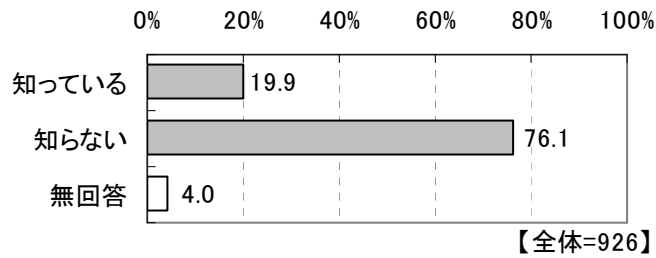


10. 幸区役所庁舎建替えについて

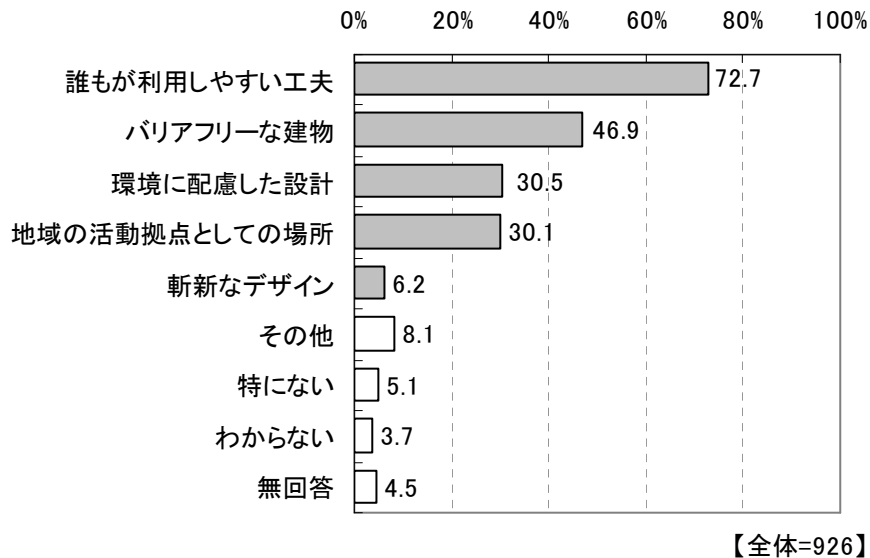
幸区役所庁舎建替えの認知度は、「知っている」19.9%、「知らない」76.1%となっている。

幸区役所新庁舎に期待することは、「誰もが利用しやすい工夫」が72.7%と最も高く、「バリアフリーな建物」46.9%、「環境に配慮した設計」30.5%と続いている。

<幸区役所庁舎建替えの認知度>



<幸区役所新庁舎に期待すること> (複数回答)



幸区区民アンケート調査 <概要版>

平成23年3月

発行 幸区役所企画課

〒212-8570 川崎市幸区戸手本町1-11-1

TEL : (044) 556-6612 (直通)

FAX : (044) 555-3130